

当国際奉仕部門委員会は3つの委員会即ち世界社会奉仕、日韓友愛、日韓短期交換委員会からなっており、それら3委員会の活動状況をご報告させていただきます。

世界社会奉仕委員会

昨年度は海外での奉仕活動に活用できるマッチング・グラントの申請が世界的大不況でロータリー財団のWF（国際財団活動資金）が不足し、通常より早く締め切られた関係から当地区でも数件のプロジェクトが申請できないという大変残念な結果に終わりました。

今年度は地区補助金委員会のご指導もあり積み残された数件を含め10数件のプロジェクトを年初7月に申請し、2-3件を残し全てのプロジェクトが承認されました。当委員会ではそのうちミクロネシア連邦チューク州立病院への焼却炉寄贈プロジェクト（International Primary Club：東京田園調布緑RC）につき現地のクラブ、病院当局との連絡等、の支援を行う一方、昨年400基寄贈の同州への塩水蒸留器プロジェクトについてもクラブへの紹介等実施中です。また地区内全クラブへの世界社会奉仕プロジェクトについてのアンケートを実施、現在集計中で11月には各クラブに報告予定です。

日韓短期交換委員会

姉妹関係にある韓国RI3650地区と当地区との日韓親善短期青少年交換留学プロジェクトを実施、それぞれの地区から4名の高校生と顧問教師1名が7月19日～8月1日にわたり両国を交互に訪問し親睦を深めました。若者同士がお互いをよりよく理解することは必ずや将来、両国のより強い絆の構築に寄与するものと確信しております。

国際友愛委員会

9月4日、5日韓国ソウルで実施した第10回日韓親善会議は日本各地から690名、韓国側700名が参加するという盛大なものでしたが当委員会では大部分の委員が参加し、690名の日本からの参加者の受付を、中心になって担当し、日韓親善に寄与致しました。

また10月10日、台湾にて実施した第2回日台親善会議にも数名の委員が参加し親睦を深めました。12月4日、5日実施予定の韓国3650地区の地区大会についても有志の参加者を求めて地区内クラブへ紹介中です。当委員会からは数名参加の予定をしております。

